

令和4年度第1回小田原市青少年未来会議 会議録

1 日 時：令和4年11月4日（金） 午後3時～5時10分

2 会 場：生涯学習センターけやき 大会議室

3 出席者

(1) 委員 笠原会長、堀内委員、吉田委員、富樫委員、本多副会長、永森委員
益田委員、栗原委員、塩浦委員、岩崎委員、赤羽委員、竹内委員

(2) 市職員 玉木副市長

【子ども青少年部】 山下部長、吉野副部長

【子ども青少年支援課】 有泉課長、上田係長

【青少年課（事務局）】 濱野課長、横山副課長、吉村主査、神田主任、小西主事補

(3) 青少年施策推進アドバイザー 横浜国立大学 藤井佳世教授

(4) 傍聴者 0人

4 次第

(1) 開会

(2) 委嘱式

(3) 副市長挨拶

お忙しい中多くの方に出席いただいたことに感謝する。藤井先生には引き続きアドバイザーを引き受けいただいた。厚くお礼申し上げる。青少年未来会議は、子供が夢や希望をもって成長できるまちの実現に向けて、青少年の未来を応援する組織として、令和4年10月から、青少年問題協議会を再編したのがこの会議体。これまでも青問協として様々な課題に当たってきた。この度は、未来志向で子どもが主体となる青少年健全育成の推進を目指していきたい。

青少年未来会議の委員には、多方面からの参画をお願いしている。様々な角度から、青少年の健全育成について議論いただけることを期待している。忌憚なき発言を期待している。

(4) 委員及び青少年施策推進アドバイザーの自己紹介

(5) 会長及び副会長の選出

笠原：会長

本多：副会長

(6) 議題

ア 小田原市青少年善行賞について【非公開】

イ 優良青少年団体並びに青少年育成功労者等表彰における被表彰者の選考【非公開】

ウ 青少年と育成者のつどいについて

エ 青少年未来会議の活動テーマについて

(7) その他(事務連絡等)

(8) 閉会

5 会議の概要 【議事進行は笠原会長】

議 題	
(1) 協議事項	
ア 小田原市青少年善行賞について【非公開】	
イ 優良青少年団体並びに青少年育成功労者等表彰における被表彰者の選考【非公開】	
エ 青少年未来会議の活動テーマについて	
吉村	資料のとおり説明
笠原	青少年育成方針については、答申の中にも案が盛り込まれていた。

	これは、今回の議題のテーマとなっている「小田原市青少年健全育成施策推進方針」と同じでよろしいか。
吉村	答申の青少年育成方針と、今回のテーマとしている「小田原市青少年健全育成施策推進方針」は同じと考えていただきたい。
益田	テーマに向けての調査というのは、作成するための調査をここですということか。
吉村	あくまでも策定するのは、市ということになる。青少年未来会議の場では、委員の方よりご意見を伺いたい。来年度、部会を立ち上げて、調査・審議をしていただき、未来会議の場で報告をしていただき、御意見を伺いたいと思っている。
益田	調査という意味が分かっていないのだが、調査というのはアンケートとかをイメージしていたが。委員の方、各分野の方からご意見を伺うというのが調査というイメージか。
吉村	委員の皆様からご意見を伺いたい。また、他市町村の様子や教育大綱や教育振興基本計画について確認、調査をしていながら策定をしていきたい。
笠原	推進方針を策定するのは市で、部会で具体的な内容を深掘していただき、意見をいただく。その意見を市で集約し、青少年未来会議に諮りたい。
吉田	青少年未来会議で扱わなければならない課題は、山積している。方針を作ることに重きを置くよりやるべきことがあるのではないかと思った。方針ありきになってしまっている。もう少し青少年未来会議で話し合ってから必要なことを盛り込むほうが良いのではないかと思った。走りながらではないが、もっといろいろな課題を話し合ってからテーマを絞っていくのも良いのでは。皆さんの中でもっと、課題を話し合ってから、その課題の中から小委員会を作ってそこで話し合うというイメージだったが。
笠原	吉田委員が仰ったように、未来会議の場で、まずは議論して、推進方針に盛り込んでいくというのでもよいのでは。青少年未来会議の場は多様な方に参画してもらっているので、この場で意見を言うていただくことは大事。
益田	推進方針を策定はしないとイケないと思うが、活動テーマを委員からの情報交換や、意見を出し合う場にするとよいのではないかと感じた。
堀内	スケジュール感として、益田委員からあったように、それぞれの知見を話したり、協議する場を位置付けてもらった場合、会議の回数はどうなるか。活動スケジュール通り行けるのか。
吉村	事務局の想定が、部会で調査審議して、青少年未来会議の場で報告といったところだったので、教育大綱や教育振興基本計画のパブコメ等もあり、その辺も加味してスケジュールを立てていた。益田委員からあったように、青少年未来会議の場で意見をいただき、部会で集約する場合は、今一度スケジュールは検討させていただきたい。今年度の2回目は2、3月に開催したいと思っている。令和5年度の日程は再検討して、お知らせしたい。
笠原	ここで決を取りたいと思う。活動テーマに関しては青少年育成施策推進方針でよいか。
	テーマは一同賛成
笠原	方法論としてだが、事務局案の部会で調査審議して、青少年未来会議で報告するやり方に賛成の方は。
	児童相談所岩崎所長のみ賛成。

笠原	青少年未来会議で委員の皆様から御意見を伺い、部会で集約するやり方に賛成の方は。
	児童相談所岩崎所長以外が賛成。
笠原	それでは、多数決ということで、青少年未来会議で委員の皆様から御意見を伺い、部会で集約するやり方にさせていただきます。
課長	本日の感想について藤井先生よりお願いします。
藤井	<p>様々なご意見があるので、事務局で委員の皆様の御意見は文書で集約して資料を作成するなどして進めてほしい。</p> <p>青少年は幅が広く、それぞれで関わっている課題をしっかりと明らかにしながらより良い社会、未来にできる橋渡しの役割ができる場になれば良いと考えている。</p>